

厚生常任委員会所管事務調査報告（令和5年度）

1. 調査テーマ

「少子化対策」

2. 経過

開催日	主な調査内容
令和5年6月12日	厚生常任委員会協議会開催 「少子化対策」をテーマに調査研究を行い、テーマに沿った内容で行政視察、意見交換会を実施することに決定。
令和5年6月21日	令和5年第2回定例会所管事務調査 中川地区学童保育施設「ななほし中川」 下宇和地区学童保育施設「明下田クラブ」 担当者より学童保育の現状について説明を受け視察を行った。 建設中の児童公園について担当者より説明を受け視察を行った。
令和5年7月3日 から5日	令和5年度厚生常任委員会行政視察 子ども家庭庁担当者より「こども家庭庁の取組」「こども政策の概要」「地域少子化対策重点推進交付金」等の説明を受け研修を行った。
令和5年9月13日	令和5年第3回定例会所管事務調査 西予ちぬやパーク視察 9月3日にオープンした児童公園について、担当者からの説明を受け視察を行った。
令和5年10月16日	野村保育所保護者との意見交換会 「子育てにおいて現在困っていること」「市（行政）への要望」をテーマに意見交換を行った。
令和5年10月18日	うわまち未来こども園保護者との意見交換会 「子育てにおいて現在困っていること」「市（行政）への要望」をテーマに意見交換を行った。
令和6年3月8日	調査研究のまとめ 1年間の調査研究結果及び提言について報告書の作成を行った。

3. 所管事務調査の概要

令和5年6月12日に厚生常任委員会協議会を開催し、「少子化対策」をテーマに調査研究を行い、テーマに沿った内容で行政視察、意見交換会を実施することに決定し

た。

【こども家庭庁研修】

厚生常任委員会行政視察では、7月3日に子ども家庭庁の担当者より、「こども家庭庁の取組」、「こども政策の概要」、「地域少子化対策重点推進交付金」等について担当者より説明を受けた。地域少子化対策重点推進交付金により、本市も「西予市結婚新生活支援事業」を実施しているため、他市町村の事例の説明を受け調査を行った。

【学童保育及び児童公園の視察】

令和5年第2回定例会の所管事務調査では、市内2カ所の学童保育を視察し、担当者から説明を受け、実際に児童と触れ合い、現状と課題について調査した。

令和5年第3回定例会の所管事務調査では、9月3日にオープンした「西予ちぬやパーク」の視察及び担当者からの説明を受けた。大型遊具は市内の木材をふんだんに使用しており、木のぬくもりがあふれる施設となっている。また、道の駅「どんぶり館」横にあるため、立ち寄りやすい場所に立地しており、集客が見込まれるとの説明であった。

【保育所等保護者との意見交換会】

テーマ：「子育てにおいて現在困っていること」

：「市（行政）への要望」

対象者：保育所及びこども園保護者

①実施日：令和5年10月16日（月）

相手方：西予市立野村保育所保護者

会 場：野村保育所

②実施日：令和5年10月18日（水）

相手方：西予総合福祉会うわまち未来こども園保護者

会 場：うわまち未来こども園

保護者からは、とても良い保育をしてもらっているが、その分、保育士不足もあり現役保育士への負担増が懸念される、年度途中の入所が難しい、全ての園児の保育料の無償化を希望する等の意見があり、意見をまとめ市へ提言を行った。

4. 所管事務調査をふまえて、市に対しての提言

「子育てするなら西予」の推進

① 少子化対策、子育て支援対策等の横断的な相談窓口の設置

令和5年4月1日にこども家庭庁が創設され、こども基本法が施行された。また、同年12月22日には「こども大綱」と「こども未来戦略」が閣議決定され、今後は政府全体のこども施策がさらにスピード感を持って推進されると思われる。

本市も令和5年度を「少子化対策強化元年」と位置付け、様々な施策が行われているが、それらの施策を今以上に市民が理解し参画できる方策を作り出すことは重要であり、また、そのことにより、市外の西予市に住みたいと興味を持つ人に西予市をアピールすることができるのではないだろうか。

市が目標とする施策の充実をはかるために、関係部署間の連携強化を行うと同時に、各施策について横断的な相談ができる窓口の設置を行うこと。

② 市内どこに住んでいても受けることのできる出産・子育て支援サービスの充実

平成 30 年度は 204 人であった出生数は、令和 4 年度は 146 人と減少しており、特に旧宇和町以外の地域で出産・子育てを行う人は少なくなっている。保育所等保護者との意見交換会でも、子どもを通しての保護者のつながりの大切さ・必要性が意見としてあったところである。

現在は、Web 会議アプリ「Zoom」による妊娠・出産・育児に関するオンライン相談等、ICT 技術を活用したサービスが行われているが、出産・子育てに関して必要とするサービスがそれぞれに異なるため、西予市内どこに住んでいても、出産・子育てに関し必要とされるサービスが提供できる体制を保てるよう努めること。